



平成 28 年度 千葉大学 ESD フォーラム

千葉大学 ESD フォーラムとは

千葉大学教育学部が中心となって行っている文部科学省ユネスコ活動費補助事業「人間力を育む ESD の地域展開」の一環として、昨年から開催されています。千葉大学の学生、教員、千葉県内のユネスコスクールの高校生、教員、アセアンからの留学生に加えて、企業、教育委員会、ユネスコ協会、公民館などから多くの方々が参加。第一部では千葉県の企業関係者が、「金融」「農業」「工芸」「交通」「植物化学」といった多様な分野から、地域振興を指向した ESD の視点で各社の取組みを講演、第二部ではそれぞれの企業が各々ブースを設け、参加者が自身の関心ある分野のブースに足を運び ESD に関する議論を行います。

平成 28 年 10 月 10 日（祝・月） 14:15-17:30

千葉大学教育学部（西千葉） 2 号館 1 階 2111 教室

—プログラム—

第一部 地元企業による ESD に関する活動についての講演

講演 1 「千葉銀行の CSR 活動に関する取組み」

（株）千葉銀行 広報 CSR 部

講演 2 「落花生増産プロジェクトに伴う弊社グループの ESD の取組み」

諏訪商店ホールディングス（株）房の駅農場

講演 3 「デザイン・ものづくり分野における ESD への取組」

（株）協同工芸社

講演 4 「地域交通を事例とした、インフラ型産業の需要創造～日本が抱える人口減少社会への挑戦」

ビー・トランセホールディングス（株）

講演 5 「ESD に関する植物化学分野からのアプローチ」

（株）常磐植物化学研究所

第二部 ブースを介した地元企業・学生・生徒・留学生の ESD に関する議論

（株）千葉銀行

諏訪商店ホールディングス（株）やます、（株）房の駅農場

（株）協同工芸社

ビー・トランセホールディングス（株）

（株）常磐植物化学研究所

昨年のESD フォーラムから

第一部の講演では内容がアセアンからの留学生にも理解できるようにするため、通訳を配し、講演途中で逐次英訳を行いました。中には自らも本フォーラムを国際コミュニケーション能力の向上に活用したいとの趣旨で、講演を英語で行った演者の方もあり、その姿勢が呼び水となり、演者への質問を日本語と英語の両方



で行う高校生も現れ、出席者一同を感嘆させました。質疑応答では、アセアンの留学生から農業分野への銀行融資の日本での状況について、高校生からフードロスの問題や外国人を工芸分野の会社で社員採用する利点について、高校校長から交通機関のエネルギー消費に関する問題について等、活発な質問・意見が続出しました。



平成27年10月12日(祝・月)
千葉大学教育学部(西千葉) 2号館1階2111教室

第二部ではいずれのブースでも第一部での講演内容をふまえた活発な議論が展開され、アセアンからの留学生と日本の高校生がクオリティーの高い質問をし、貪欲に議論に参加する姿勢が見られました。また、企業からも自社の活動をESDの観点から再認識したとの声がかかれました。



《千葉大学西千葉キャンパス》



【お問い合わせ・参加申し込み】

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33
国立大学法人千葉大学 ESD 事業事務局 國分
Tel& Fax : 043-290-2584
E-mail : afna4266@chiba-u.jp